

[水田作部門]

9. 飼料米用「ヒノヒカリ」の立毛乾燥に適した収穫時期

[要約]

飼料米用「ヒノヒカリ」の籾含水率は、11月中旬頃まで低下して17%程度になるが、その後はほとんど低下しないことから、立毛乾燥に適した収穫時期は11月中旬である。

降雨後は一時的に籾含水率が上昇するため、収穫は降雨2～3日後まで待つ。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 作物・経営研究室

[連絡先] 電話086-955-0275

[分類] 技術

[背景・ねらい]

飼料米用水稲は、発酵粗飼料（WCS）用水稲と並び、県の耕畜連携において重要な品目である。飼料米は刈り遅れによる品質低下が問題とならないことから、通常より収穫を遅らせることができ、圃場で籾を乾燥させる「立毛乾燥」により、収穫後の乾燥コスト低減が期待できる。そこで、成熟期以降も強い耐倒伏性を維持する「ヒノヒカリ」について、籾の含水率の推移を明らかにし、立毛乾燥に適した収穫時期を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 成熟期から11月中旬頃にかけて徐々に籾の乾燥が進み、含水率は17%程度まで低下するが、11月下旬以降はほとんど低下しないことから、収穫は11月中旬に行うのがよい（図1、図2）。
2. 降雨によって籾は吸水し、籾含水率が高まるが、直近の降雨日から2日後には籾含水率が急激に低下し、3日後にはさらに少し低下する傾向があることから、降雨がある場合、収穫は少なくともその翌日を避け、できれば3日後まで待つのがよい（図2、表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 籾含水率はいずれも午後2時の測定値である。
2. 立毛乾燥は倒伏しない場合に適用できるが、長期間立毛乾燥を行うと、雀による食害や稈の中折れが発生する危険性が高まる。

[具体的データ]

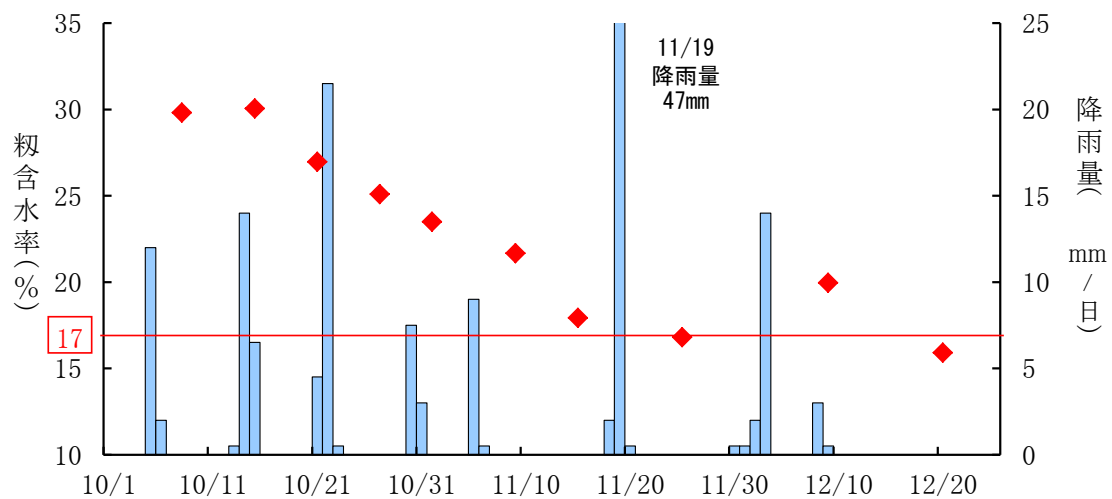


図1 2011年における籾含水率の推移と降雨条件

◆: 籾含水率 縦棒: 降雨量 移植日: 6月17日 成熟期: 10月8日

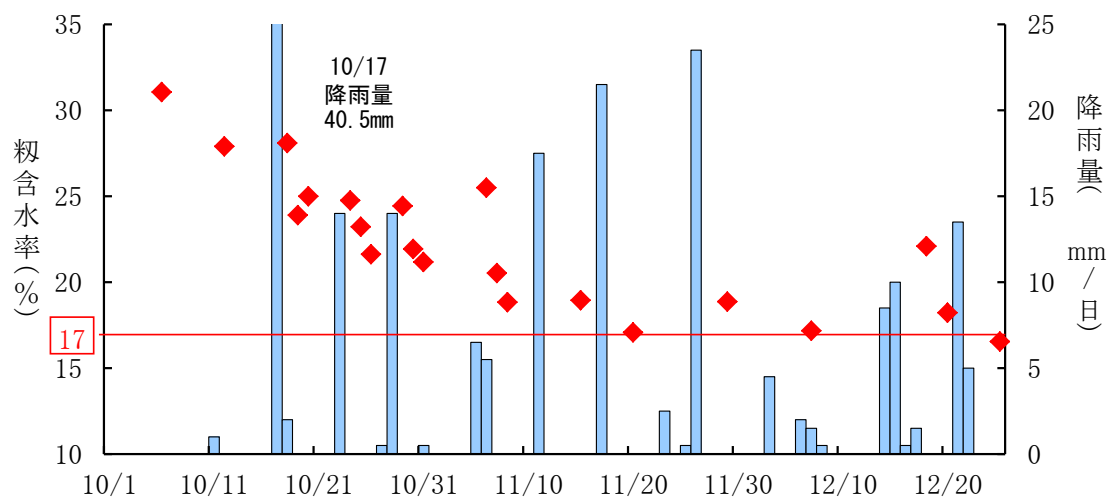


図2 2012年における籾含水率の推移と降雨条件

◆: 籾含水率 縦棒: 降雨量 移植日: 6月15日 成熟期: 10月7日

表1 2012年における降雨翌日から3日後までの籾含水率の変化

	10/18	10/19	10/20	10/24	10/25	10/26
直近降雨日, 降雨量	10/17~18未明, 42.5mm			10/23, 14.0mm		
籾含水率(%)	28.1	23.9	25.0	24.8	23.2	21.6
	10/29	10/30	10/31	11/6	11/7	11/8
直近降雨日, 降雨量	10/28, 14.0mm			11/5~6未明, 12.0mm		
籾含水率(%)	24.4	21.9	21.2	25.5	20.5	18.8

[その他]

研究課題名: 発酵粗飼料に対応した水稻の品種選定と低コスト栽培法の確立

予算区分: 県単

研究期間: 2010~2012年度

研究担当者: 渡邊丈洋